

宗教学人 日本バプテスト連盟

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和 1-2-4
TEL 048-883-1091(代)
FAX 048-883-1092(代)



JAPAN BAPTIST CONVENTION

1-2-4 MINAMI URAWA MINAMI-KU SAITAMA-SHI,
SAITAMA, 336-0017 JAPAN
PHONE 81 (JAPAN)-48 (AREA)-8831091
FAX 81 (JAPAN)-48 (AREA)-8831092

全日本にキリストの光を
Christ's Light to All of Japan

2016年4月20日

全国の連盟加盟諸教会・伝道所の皆様へ

日本バプテスト連盟
常務理事 吉高 叶

「2016年熊本地震」災害をおぼえて お祈りと募金のお願い

主の御名があがめられますように。

熊本・大分地方で大規模な地震が発生し、今なお「余震」が続いています。これほど長期間に亘って揺さぶられる中を耐えておられる現地の方々の恐怖と不安はいかばかりでしょう。一連の地震が一刻も早く収束するよう、救援を待つ人々が助け出されるよう、被害が拡大しないよう、避難所での生活を強いられている方々が守られるよう、そして愛する者を失った方々の上に主の慰めがありますよう、心を合わせて祈りましょう。

さて、熊本地震の発生後より、九州地区にある連盟諸教会を背景として、迅速な支援活動に取り組んでくださった皆様にまずは感謝を申し上げます。

日本バプテスト連盟としての共同の取り組みにつきましては、これまでの災害支援の経験から、現地の地方連合（今回は南九州地方連合、あるいは九州地区の地方連合）からの要請を受けとめながら進めてまいります。

去る4月19日（火）に人吉教会を会場に南九州地方連合の合同役員会が開催され、連合としての取組方針が決められました。南九州連合としては、連合内の教会・伝道所の支援に絞り込んで実施していくとのことです。添付の報告の通り、教会堂等建物に甚大な被害を受けた教会も複数あり、そうした教会の修復や補強、そして教会員方の心身のケアなどが求められていくことになります。また、今後、九州地区の他の地方連合ごとに支援行動が決められたり、あるいは九州地区の4つの地方連合が共同しての活動がつけられていく可能性もあろうかと思えます。そうした今後の支援活動を全国諸教会・伝道所の祈りと募金で支援していきたいと思えます。

現在のところ、南九州地方連合内の教会に、支援物資を受け入れ、それを仕分けし配送していく作業を行う拠点を設置することはできませんが、他の地方連合の中にそのような拠点が設置されていくかもしれません。その際には、そこから発信される支援物資のリストに応じて、それぞれご対応くださいますようお願いいたします。現時点では、全国諸教会・伝道所の共同の支援行動としては「祈りと募金」をもって連帯してまいりましょう。

集められました募金は、被災された現地の教会の必要のため、九州地区における初動の支援活動のサポートのため、また今後取り組まれていくでありましょう支援のための体制づくりのために用いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

在 主

募金目標額 800万円（第一次として、2016年5月末まで）

郵便振替 00140-9-180881「宗教学人日本バプテスト連盟総務部」

※熊本地震募金と明記してください。

被災地の教会に関する情報は連盟ホームページにアップしてまいります。

南九州地方連合会長 徳渕敬尚牧師からいただいた情報（4月16日現在）を元に追加記入した資料です。

熊本地震・被災の状況(2016年4月20日現在)

教会	被害状況
大牟田	牧師館でちょっとしたもの落ちなど有り。会堂の被害は特になし。
有明	もの落ちなど有り。会堂の天井に亀裂が入った。
フレッドシップ	特に被害はない。
熊本愛泉	礼拝堂母子室のガラスが二枚割れた。牧師が教会員の家飲み水を届けている。 【愛泉祈祷院】たくさんの方が避難している。
山鹿（伝）	揺れが強かった。被害は特になし。
熊本南	瓦が落ち、外壁も崩れ、食器棚も倒れた。礼拝堂の内壁が崩れ落ちた。人的被害はなし。
八代（伝）	無牧師のため現在確認中。
東熊本	講壇後ろの壁が崩れ落ちている。水が不足している。 保田井牧師ご夫妻が車内避難をされている。 日曜日、6名が集まり、祈り、会堂の片づけをした。メンバーの中には、福岡に避難した方や避難所に行かれている方もいる。
豊岡（伝）	牧師館の棚などが倒れた。一階に降りて休んだりしている。
天草中央	揺れたが被害は特になし。
菊池シオン	礼拝堂の棚などが倒れた。牧師館がもので散乱している。 濱川耕一牧師ご家族は現在牧師館で生活しておられる。数名の教会員が断水状態。
羊の群れ（伝）	朴哲浩（パク チョルホ）牧師ご家族は避難所に退避。

※現在のところ、他の南九州地方連合の教会・伝道所の被害報告はありません。

北九州地方連合大分地区の教会の状況

大分	教会員とご家族、村田悦牧師ご家族とも無事。 大分道、東九州道の通行止により車での移動が困難になってきている。
別府国際	教会員とご家族、斎藤剛毅協力牧師ご家族とも無事。夜間のみ小学校の校庭で車中泊をしている家族や、そのため疲れている家族がいる。 別府市内の揺れが大きかったため、いくつかの教会員宅で、食器棚が倒れたり、照明器具が落ちたりといった被害が発生している。湯布院の教会員宅も、家財道具に被害が出ている。後片付けが深刻な課題。
臼杵	教会員とご家族、松永正俊牧師ご家族とも無事。礼拝にいらした方の中に、地震の影響で睡眠が取りにくくなっている方が複数おられる。

日本バプテスト連盟と全国の13地方連合は、毎年度、地方連合連絡協議会で確認している「災害発生時マニュアル」に基づいて行動しています。今回も、南九州地方連合としての動き（熊本地区）、北九州地方連合としての動き（大分地区）からの祈りの要請をいただきながら、発信をいたします。

※被災状況が深刻な熊本地区の教会の情報等は、駆けつけておられる近隣教会のSNS（フェイスブック）や、メールリストで発信される情報が常に最新のものです。したがって、一番直近の情報については、どうぞそれらをご参照ください。



会堂の被災状況の例

東熊本教会

講壇後ろの壁が崩れ落ちている



熊本南教会

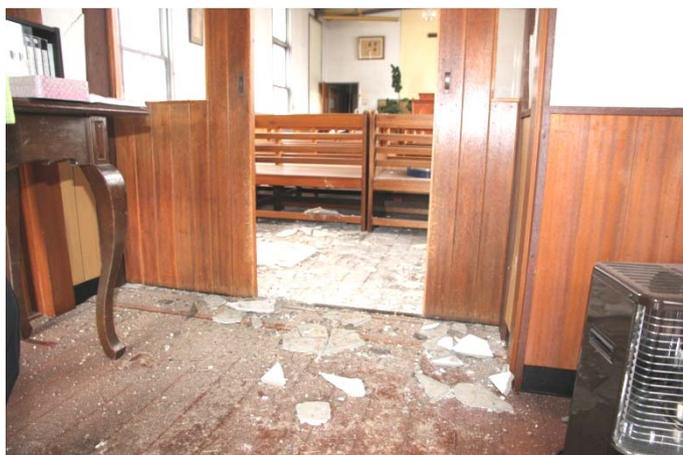
棟瓦がすべて崩落



軒部分のモルタルが下地の木材ごと落下



室内は食器や漆喰(内壁)が散乱



漆喰の崩落や天井材のめくれ



祈りましょう

現在も続いている地震が収まりますように。

救助を待っている人命が助け出されますように。

愛する大切な人を失った方を覚えて。

避難している方々の一時ひとときが支えられますように。